

円筒直動軸受専門メーカーとして世界トップクラスのヒーハイト精工がFIA F4「Honda FORMULA DREAM PROJECT」のサポートを始めた理由とは



HEPHAIST

Honda FORMULA DREAM PROJECT

勝ち続ける強さの秘密



尾崎：本日はシーズン中にもかかわらず、弊社を訪問していただきありがとうございます。

阿部：こちらこそ、ご挨拶が遅れて申し訳ありません。2018年度のシーズンサポートを頂きありがとうございます。

尾崎：岡山での開幕戦から既に6戦が行われ、ここまでチームの角田君が5勝と圧倒的な力を見せてつけていますね。この快進撃の要因を教えてください。

阿部：ありがとうございます。まだまだ前半戦を終えたばかりです。シリーズチャンピオンをかけて、むしろこれからが本当の戦いで気を抜けません。角田のドライバーとしての才能が開花しつつあるのも事実ですが、やはりワ

ンメイクレギュレーションで、差がつきにくい中で、これだけ勝っているのは、チームとしての総合力だと思います。サーキットごとに異なるコースレイアウトや当日のレースコンディション等を分析し、セッティングの方向性を見極めるなど、やはりチームのマネジメント力の差が結果に出ているのかなと感じています。



限界への挑戦



尾崎：弊社は、メーカーとして、「直動機器、超精密加工、システム製品開発」を柱とした3つの事業領域でビジネスを展開しています。実は、弊社の蓄積された独自の術ノウハウは、レーシングカーの精密部品にも採用されています。HONDAとも長年にわたり仕事をさせていただいています。今回、Honda FORMULA DREAM PROJECTにサポートさせていただいたのは、その信頼関係の反映であることも事実です。ただ、それ以上に「世界の頂点を目指すドライバーを育てる」というProjectの熱い思いに共感した事が最大の動機です。弊社も、常に挑戦の気概を持ち続けることが大切だと思っています。高度な技術開発は、常に限界の壁との戦いです開発の過程の中で、瞬時の判断力も求められます。できない言い訳をするのは簡単ですが、決して諦めない姿勢こそが未来を拓きます。

阿部：お話を伺う中で、私達と同じような思いがあることを強く実感しました。私達も、全員が一体となってレースでコンマ数秒を削り出すために全力を尽くします。そして結果を残すことが全てです。勝たなければ、何を言っても言い訳にしかありません。ヒーハイト精工様を始めとしたサポート企業の皆様の熱い期待に応えるためにも、今シーズンの残りのレースを全力で頑張ります。

尾崎：実は、私も含めて弊社の社員は、モータースポーツが本当に大好きなんですよ（笑）以前、レースが好き過ぎて、弊社主催のKart大会を開催したことがあるんです。現在はHONDAのドライバーの山本尚貴さんや塚越さん達と即席チームを作ってとても楽しかった思い出があります。機会があれば、Honda FORMULA DREAM PROJECTの若きドライバーの皆さんにも、是非サーキットでお会いできればと思います。阿部監督、これからも頑張ってください！

